



いなほ

稲積神社社報

第36号

平成24年 1月1日発行



石川 尚美氏 撮影



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

六 月十日 三十日	お越 大祓 満灯 祭祭	五月二日 三日 四日 五日	正祭 正祭 正祭 正祭	献祭 木祭 木祭 木祭	三月四日 四日 二十六日	熊野社 甲子社 天満社 天神社 例例	二月初三日 三日 八日 十日 十一日 十七日 十九日	初詣 針供養 恵方詣り 祈年祭 猿田彦社 受験合格祈願	一月一日 一月一日	新歳 年祈願	毎月 十五日 三十日	古神札 焚上げ 神恩感謝 月次謝祭	祭典行事曆 (二月〜六月)
-----------------	----------------------	------------------------	----------------------	----------------------	--------------------	--------------------------------	--	--	--------------	-----------	------------------	----------------------------	------------------

運勢

平成二十四年 壬辰・六白金星

宮司 根津 泰昇



今年の干支は、隠れ竜と云う。諸事に対して良い面を表面に出せず、良き才能や事象が表面で済む傾向にあり。表面化させるには、物事に全力で取り組む事により引き立てがあり、希望達成を得たり、将来の基礎が築かれる年です。

☆一白水星(衰退期の平運)

良き事、悪しき事が表面化し、運命が左右される年。悪しき事は長引かせないよう、速やかに解決する事。

○昭和二十年生 六十七歳

人徳が良い評価を受けます。焦らずに生活しましょう。老後設計には良い年です。

○昭和二十九年生 五十八歳

精神的に孤立がちです。諸事に対して平常心で対応する事。

○昭和三十八年生 四十九歳

離散が生じ、迷いことが多い。

経済的にも下降気味です。自分を見つめ直す事。

○昭和四十七年生 四十歳

男性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。自我心を強く表すと失脚します。陰徳積善の重要さを大切に。

○昭和五十六年生 三十一歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。世間に認められ榮譽を受けるが、反対妨害を受ける逆説もあり。慎重さが大切。

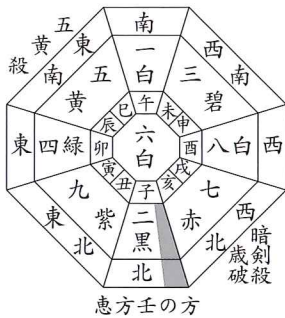
○吉方 東・南

○凶方 北・東南・南・西北

○建築・移動・開店 前半吉

平成二十四年方位吉凶図

次の星の人は「万災除」「生気興隆」「開運」のご祈願を受け、災難除の御神徳をお授かり下さい。



ラッキー色 白色

☆二黒土星(衰退期の衰退運)

衰退運です。星除け祈願をお受け下さい。心労多く、悩みや迷い事多い、経済困窮や病難の相あり。平穩な生活を心掛けて吉。

○昭和十九年生 六十八歳

前半は穏やかな生活を過ごせます。後半は病災、孤独感の相あり。慎重な生活が必要

○昭和二十八年生 五十九歳

気苦労多し。経済的問題を生じ易い、又病難にも注意。

○昭和三十七年生 五十歳

自我心を抑え、謙虚な言動を以て吉。

○昭和四十六年生 四十一歳

男性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。諸事が不漁不作です。詐欺、盗難、水難に注意。冬眠の精神に徹する事。

○昭和五十五年生 三十二歳

女性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。諸事退守の精神に心掛ける。力不足の面あり、努力を重ねて吉。病難に注意。

○吉方 北東・西

○凶方 北・東南・南・西北

○諸事見送り。

☆三碧木星(盛運期の順調運)

盛運期に入ります。前半は思う程進展しません。温順平穩な時期は後半です。忍耐強く待つて吉。

○昭和十八年生 六十九歳

何事にも温順に対応する事により、安泰の生活が得られます。

○昭和二十七年生 六十歳

男性は本厄です。厄除祈願をお受け下さい。

今後の生活設計を立て、基礎作りをする年。一生懸命努力して吉。

○昭和三十六年生 五十一歳

不動産に関心が集まる年。無理をせねば良好の道が開かれます。

○昭和四十五年生 四十二歳

男性は大厄の後厄です。厄除祈願をお受け下さい。物事の進展が鈍く、長引きます。流れに逆らわず身分に応じた行動をする事。

○昭和五十四年生 三十三歳

女性は大厄の後厄です。厄除祈願をお受け下さい。忍耐と基礎作りを専念して吉。

○昭和六十二年生 二十四歳

男性は本厄です。厄除祈願をお受け下さい。今後の生活設計を立て基礎作りをし、土台を築く年。

○吉方 東・南

○凶方 北東・東南・南西・西北

○建築・移動・開店 後半吉

☆四緑木星(盛運期の向上運)

生活に動きがでてくる年。決断や新規事は速やかに実行して吉。

○昭和十七年生 七十歳

持病を抱えている方は充分注意。

○昭和二十六年生 六十一歳

無理を重ねてきた方は前途多難整理し再出発する年。将来の運命を決定する年です。で努力を重ねる事。

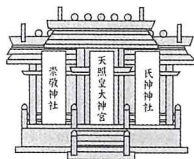
○昭和三十五年生 五十二歳

永年努力を積み重ねてこられた方は、世間に認められ、

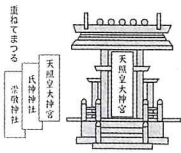
お神札の納め方

三社づくりの宮形は、中央に神宮大麻(天照皇大神宮)、向かって右に氏神様、向かって左側に崇敬する神社や旅先などで受けたお神札を納めます。

一社づくりの宮形は、左図のように手前から順にお神札を重ねて納めます。



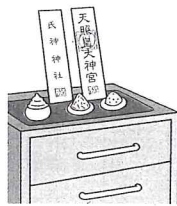
<三社づくりの宮形>



<一社づくりの宮形>

- 八巻 武士
- 福嶋 里工
- 大嶋 晁
- 志村礼二・奈美・礼音・宇紀・晔希
- 高野 諭・清乃
- 清水愛己・美菜子・愛翔
- 株式会社 ツクイ
- 杉田成司・晶代

神棚がない場合のまつり方を整えて綺麗な敷物を敷いておまつりしましょう。宮形が置けない場合は、お神札のみを立てておまつりする方もあります。大切なのはおまつりする心ですから、出来るところから工夫してみましよう。



※設置時の注意
神棚は置く宮形の高さ・幅・奥行きに注意して余裕をもつて設置しましょう。特に奥行きは、毎日のお供え(米・塩・水など)や神を置くことも考慮するとよいでしょう。

山梨県神社庁設立六十五周年 記念表彰

さる十月二十四日コラニ文化ホールにて開催された平成二十三年度神社関係者大会において功績表彰を受けられた神社関係者を御紹介します。(敬称略)

◎本庁及び神社庁の運営に功績顕著な者
総代 宮川 睦武

◎神社庁規程表彰
権禰宜 篠原 康正

◎神社の維持経営・祭典振興等格別功績のある者

者及び団体
甲府伊勢講 川崎 久弥
甲府伊勢講 加藤 勝造
いなほ会 佐藤 久良
和会 山土井康能
いなづみ会 市村龍太郎
敬神婦人会 塩島はる子

◎神職にして年齢八十歳に達し二十年以上勤務せる者
権禰宜 神戸 勉

心より御祝い申し上げます。今後益々の御活躍を御期待申し上げます。

大厄は四十二歳	男の厄年		
	前厄	本厄	後厄
60歳 昭和28年生	41歳 昭和47年生	24歳 昭和64年生	前厄
61歳 昭和27年生	42歳 昭和46年生	25歳 昭和63年生	本厄
62歳 昭和26年生	43歳 昭和45年生	26歳 昭和62年生	後厄

大厄は三十三歳	女の厄年		
	前厄	本厄	後厄
36歳 昭和52年生	32歳 昭和56年生	18歳 平成7年生	前厄
37歳 昭和51年生	33歳 昭和55年生	19歳 平成6年生	本厄
38歳 昭和50年生	34歳 昭和54年生	20歳 平成5年生	後厄

数え年とは、満年齢に誕生日前には二歳、誕生日後には一歳を加えた年です。

身分向上を得ます。

○昭和四十四年生 四十三歳

厄も抜けました。従来から計画や考えがあれば実行に移すには良い年です。

○昭和五十三年生 三十四歳

新たな事柄に興味を持ちます。計画を綿密に立てて一歩一歩歩みましょう。

○吉方 北東・南・南西

○凶方 東・東南・西・西北

◎建築・開店・移動 吉

☆五黄土星(盛運期の盛運)

諸事に発展をみる年。交際も広がり、世間を広くする年。自我を強く出すと落とし穴あり。

○昭和二十五年生 六十二歳

積み重ねてきた人生経験を生かし、今後の生活設計や仕事面を充実した結果が得られるよう努力する事。

○昭和三十四年生 五十三歳

物事は順調に進みますが、慎重に行動しないと手からこぼれますので注意。

○昭和四十三年生 四十四歳

交際も広がり、諸事に活躍できる年。努力し吉。

○昭和五十二年生 三十五歳

諸事に対して決断すべき事は、確信をもって決断する事。

○昭和六十一年生 二十六歳

縁談には良い年。不決断は

迷いの元になります。

○吉方 北・北東・西

○凶方 東南・西北

◎建築・移動・開店 吉

☆六白金星(平運期の注意運)

物事に不満不足があり、解消しようとな変化を求め、行動を強めると順調に運びません。現状維持に徹し、平穏安静に努力する年。

○昭和二十四年生 六十三歳

○昭和二十三年生 五十四歳

経済的に無理すると失敗の原因。病災にも注意。

○昭和四十二年生 四十五歳

保守保全の心構えで進めば引き立てあり。行き過ぎ自惚れに注意。

○昭和五十一年生 三十六歳

女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。住居等の移動をすると悪化作用が働き、心身の苦勞が生じ病難相あり。慎重に行動する事。

○昭和六十一年生 二十七歳

保守保全に努め基盤作りの年。女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。厄年なので

○平成六年生 十八歳

女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。厄年なので

○平成六年生 十八歳

女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。厄年なので

女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。厄年なので

○吉方 北・南・西

○凶方 東南・西北

◎諸事見送り

☆七赤金星(平運期の注意運)

将来の為に尊厳と威信を築き上げる年。しかし暗剣殺・歳破を受けますので悪化作用を止めるには相当の努力が必要。星除け祈願をお受け下さい。

○昭和二十三年生 六十四歳

○昭和二十二年生 五十五歳

○昭和二十一年生 四十六歳

諸事がスムーズに進むが、完成を急ぐと苦勞を増す事になる。

○昭和五十年生 三十七歳

女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。自己を犠牲にしたり、辛苦を伴う事態に遭遇する年なれば、注意が必要。

○昭和五十九年生 二十八歳

目上の引き立てもあり、活動的な年。平静不動の心構えでないとい災いを被る。

○平成五年生 十九歳

女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。諸事に失敗を起す年なれど注意が必要。

○平成五年生 十九歳

女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。諸事に失敗を起す年なれど注意が必要。

○平成五年生 十九歳

女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。諸事に失敗を起す年なれど注意が必要。

女性は何年です。厄除祈願をお受け下さい。諸事に失敗を起す年なれど注意が必要。

○吉方 北・南・西

○凶方 東南・西北

◎諸事見送り

☆八白土星(平運期の順調運)

従来からの計画が順調に進みます。悦び事や発展が見込まれます。反面謙虚さを失なったり高慢になると挫折、散財の気あり注意。

○昭和二十二年生 六十五歳

○昭和二十一年生 五十六歳

○昭和二十年生 四十七歳

基礎作りが整った方は発展に進みます。気を緩めずに慎重にして吉。

○昭和三十一年生 五十六歳

強情、権威名声を通すと諸事が進みません。家中も苦勞病災の気あり。平安安泰に心掛けて吉。

○昭和四十年生 四十七歳

基礎作りを精を出す年です。先祖供養も大切に。日々の神恩に感謝し宮参りして成就。

○昭和四十九年生 三十八歳

築き上げて来た事が崩壊の危機にあり。力不足の感あり慎重に接し、平常不動の精神が肝要。

○昭和五十八年生 二十九歳

離散、辛苦がある年。社会状況を見極め、努力をする事が肝要。

○吉方 北・北東

○凶方 東・東南・西・西北

◎新規事・移転・開店 吉

☆九紫火星(衰退期の注意運)

諸事に行き詰まり、迷い事多い年。強引な行動は避け、前進より退守に心掛ける事。

○昭和二十一年生 六十六歳

強情を通すような傲慢さに注意。控え目にしないと積み上げてきた事柄が失われます。

○昭和三十年生 五十七歳

無理せず将来を見据え、道理に叶った行動で発展向上。

○昭和三十九年生 四十八歳

万事が思うように進まず迷い事多い。病災、離散の兆候あり。平静不動の精神が大切。

○昭和四十八年生 三十九歳

散銭の年。蓄財に目を向ける事。不動産購入は改革になる。

○昭和五十七年生 三十歳

改革を求めたくなる。自我心が現れ、独立心も強くなる。養子、養女の縁あり。

○吉方 北・東・西

○凶方 北東・東南・南西・西北

◎建築・移動・開店 見送り



第七回 崇敬会大祭

去る平成二十三年九月十日午後三時より『第七回崇敬会大祭』が、例年通り厳かに斎行されましたことを、先ず以てご報告致します。

さて、翌、十一日には「稲積神社崇敬会、箭弓稲荷神社と鎮守氷川神社参拝の旅」と題して、七十六名の参加者により、研修旅行が行われた。

前回の崇敬会研修旅行は、県内神社での祭祀のありかた等を学ぶべく『県内神社視察研修』を行ったが、今回は「県外の稲荷信仰と関東の氷川信仰を研修し、各神社御祭神の御神徳を肌で感じその恩恵を授かる」をテーマに行われた。

先ず訪れたのは、当神社の御祭神と同神である「保食神（ウケモチノカミ）」が祀られている『箭弓稲荷神社』であった。



指定文化財になっている社殿は豪壮な権現造りで、拜殿には文化財である宝物の絵馬七額が掲げられていた。規模の大きき、社殿の荘厳さ、ご霊験のあらたかさで大勢の信仰を集めていると言ったことであつたので、私も箭弓稲荷様のお力を授かることが出来てありがたい気持ちで神社を後にした。

次に訪れたのは、私が以前奉職していた『鎮守氷川神社』であつた。御祭神は「素戔嗚尊（スサノオノミコト）」が祀られている。ヤマタノオロチ神話は有名な話であるが、出雲地方の斐伊川の氾濫を素戔嗚尊が鎮めた話が元であり、そのご霊験より関東の川沿いに二四〇社を越える氷川神社が現存する。そんな中でも「鎮守氷川神社」は、埼玉県川口市鎮守の神として、小さな大社と呼ばれるほどの氏子崇敬者からの篤い信仰を集めている。御祭神の御神力は元よりながら、鈴木宮司のパワーを皆が戴けたようであつた。

その後は浅草散策、スカイツリー車窓見学と懇親を深めつつ日程を終えて帰路へ付いた。有意義な意味深い時間を過ごした一日であり、研鑽を深める為にも継続したい研修であつた。

稲積神社甲府伊勢講

真田十萬石史跡探求と川越まつりをめぐる草津温泉の旅

崇敬青年会会員 山口奈々

本年で四十六回目を迎える稲積神社甲府伊勢講千社詣での集いは、去る平成二十三年十月十四日から十五日にかけて無事、実施を終えました。

長野県松代市・佐久間象山を御祭神とする象山神社の参拝、また国指定重要無形文化財に指定される川越まつりで賑う氷川神社を正式参拝できる大変貴重な機会ということもあり、総勢一〇一名の方々が参加されました。

名な話であるが、出雲地方の斐伊川の氾濫を素戔嗚尊が鎮めた話が元であり、そのご霊験より関東の川沿いに二四〇社を越える氷川神社が現存する。そんな中でも「鎮守氷川神社」は、埼玉県川口市鎮守の神として、小さな大社と呼ばれるほどの氏子崇敬者からの篤い信仰を集めている。御祭神の御神力は元よりながら、鈴木宮司のパワーを皆が戴けたようであつた。

その後は浅草散策、スカイツリー車窓見学と懇親を深めつつ日程を終えて帰路へ付いた。有意義な意味深い時間を過ごした一日であり、研鑽を深める為にも継続したい研修であつた。

一日目は長野県松代にて、真田家にゆかりのある博物館、文武学校等を見学し、群馬県の名湯・草津温泉ホテル櫻井にて夜の宴を楽しみました。二日目は、埼玉県川越市にて、川越まつりの山車で彩られた蔵造りの街並みを楽しむ、興味深く発興祭に参列しました。今年の旅も、稲積神社甲府伊勢講の千社詣での集いならではの、穏やかで充実した時間であつたと思います。

抜穂祭

去る十月十日、境内の神饌田にて抜穂祭が斎行された。

今年は大震災等天候が不順で成育が心配されたが無事収穫出来、神前にお供えする事が出来ました。

ごあんない

平成二十四年新春特別企画

稲積神社恵方参りの旅

恵方とは、その年の福徳を司る神、歳徳神が年毎に宿る方向です。

(今年は壬北北西)

その恵方にある神社に参拝することが恵方参りです。

恵方、壬の方に鎮座する新潟県上越、居多神社に参拝し一年の御守護、幸福を祈りましょう。

日時

平成二十四年二月十二日

～十三日

宿泊

富山県水見温泉郷

旅行代金

お一人様 二一、五〇〇円



命継ぐ食もの衣もの住むいへも
稲荷の神の恵みなりけり

正ノ木稲荷大明神

稲積神社

甲府市太田町公園内鎮座
電話 (055) 233-5573
FAX (055) 226-0787